

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

|                            |  |          |                 |   |                                      |  |   |  |  |
|----------------------------|--|----------|-----------------|---|--------------------------------------|--|---|--|--|
| 事業名                        | 石綿関連疾病診断技術研修事業   |          | 担当部局庁           | 労働基準局労災補償部                              |                                      | 作成責任者  |   |  |  |
| 事業開始・終了(予定)年度              | 平成18年度   |          | 担当課室            | 補償課                                     |                                      | 若生 正之  |   |  |  |
| 会計区分                       | 労働保険特別会計労災勘定   |          | 施策名             | II 2 4 労働災害に被災した労働者等の社会復帰に向けたリハビリ等を支援する |                                      |  |   |  |  |
| 根拠法令<br>(具体的な条項も記載)        | 労働者災害補償保険法第29条第1項第2号   |          | 関係する計画、通知等      | 石綿関連疾患診断技術研修事業委託要綱                      |                                      |  |   |  |  |
| 事業の目的<br>(目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 医療関係者に対し、石綿関連疾患の診断方法、石綿ばく露に関する所見の読影・検査方法や労災補償上の取扱い等について研修を実施することにより、医療関係者による労災請求の勧奨等を通じて、被災労働者の援護を図る。  |          |                 |   |                                      |  |   |  |  |
| 事業概要<br>(5行程度以内。別添可)       | <p>石綿関連疾患の診断及び石綿ばく露に関する所見については、その判断が困難な場合が多く、これらの診断に当たっては、医学的な知識・経験に加え、石綿ばく露等についても知識が必要であることから、医療従事者に対し、石綿関連疾患に係る診断技術の向上及び労災補償制度の周知を図るため、以下の内容について研修プログラムを作成し、研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石綿に関する一般的知識、職域におけるばく露について</li> <li>・石綿関連疾患の病態、診断及び臨床について</li> <li>・石綿小体計測実習について</li> <li>・労災補償制度について</li> </ul> |          |                 |   |                                      |  |   |  |  |
| 実施方法                       | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他   |          |                 |   |                                      |  |   |  |  |
| 予算額・執行額<br>(単位:百万円)        | 予算の状況  | 21年度     | 22年度            | 23年度                                    | 24年度                                 | 25年度要求   |   |  |  |
|                            |  | 当初予算     | 35              | 23                                      | 23                                   | 22   | 22  |  |  |
|                            |  | 補正予算     |                 |   |                                      |  |   |  |  |
|                            |  | 繰越し等     |                 |   |                                      |  |   |  |  |
|                            | 計  | 35       | 23              | 23                                      | 22                                   | 22   |   |  |  |
|                            | 執行額  | 33       | 19              | 22                                      |                                      |  |   |  |  |
| 執行率(%)                     | 94.3%  | 82.6%    | 95.7%           |   |                                      |  |   |  |  |
| 成果目標及び成果実績<br>(アウトカム)      | 成果指標   |          | 単位              | 21年度                                    | 22年度                                 | 23年度   | 目標値(24年度)                                     |  |  |
|                            | 研修を実施した際のアンケートにおいて、受講者からの「有意義であった」旨の回答を80%以上とする。   |          | 成果実績            | 「有意義であった」旨の回答率                          | 受講者からの「有意義であった」旨のアンケート回答率は96.5%であった。 | 受講者からの「有意義であった」旨のアンケート回答率は99.5%であった。           | 受講者からの「有意義であった」旨のアンケート回答率は82.2%であった。          | 研修を実施した際のアンケートにおいて、受講者からの「有意義であった」旨の回答を80%以上とする。 |  |
|                            |  |          | 達成度             | %                                       | 121%                                 | 124%   | 103%  |  |  |
| 活動指標及び活動実績<br>(アウトプット)     | 活動指標   |          | 単位              | 21年度                                    | 22年度                                 | 23年度   | 24年度活動見込                                      |  |  |
|                            | 全国各地域において、計17回の研修を実施し、延べ500人が受講すること。   |          | 活動実績<br>(当初見込み) | 研修回数<br>受講人数                            | 受講人数705人<br>(受講人数630人)               | 研修回数計21回<br>受講人数687人<br>(研修回数17回、<br>受講人数500人) | 研修回数31回<br>受講人数948人<br>(研修回数17回、<br>受講人数500人) | —<br>(研修回数17回<br>受講人数500人)                       |  |
|                            |  |          |                 |   |                                      |  |   |  |  |
| 単位当たりコスト                   | 703,279(円/研修1回)  |          | 算出根拠            | 研修1回あたり 21,801,660円(執行額)÷31(回)=703,279円 |                                      |  |   |  |  |
| 平成24・25年度予算内訳              | 費目   | 24年度当初予算 | 25年度要求          | 主な増減理由                                  |                                      |  |   |  |  |
|                            | 賃金・謝金  | 4        | 4               |   |                                      |  |   |  |  |
|                            | 旅費   | 4        | 4               |   |                                      |  |   |  |  |
|                            | 事務費等   | 13       | 13              |   |                                      |  |   |  |  |
|                            | 消費税  | 1        | 1               |   |                                      |  |   |  |  |
|                            | 計  | 22       | 22              |   |                                      |  |   |  |  |

| 事業所管部局による点検                                       |  |   |   |
|---|--|---|---|
|   | 評価   | 項目  | 評価に関する説明  |
| 目的・予算の状況  | ○  | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。                     | 本事業は、医師の石綿関連疾患に係る診断技術の向上を図り、一般の医療機関の医師に広く石綿関連疾患及び労災補償制度について理解を深めてもらうことにより、労災請求の勧奨等を通じて被災労働者の援護を図るため、実施するものであり、優先度が高い事業である。                                |
|   | ○  | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。      | 国が実施している労災保険給付の認定に資する石綿関連疾患に係る診断技術の向上及び労災補償制度の周知を図るものであるため、国が実施すべき事業である。  |
|   | —  | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。                      | —   |
| 資金の流れ、費目・使途                                       | △  | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。                      | 本事業の実施に際し、受託者の選定に当たっては石綿関連疾患に係る幅広い見識を有する医師等の専門家や石綿小体等の計測に必要な極めて高度な技能及び経験を有する者を確保することが重要な条件であるが、本事業を実施しうる者が一者のみ若しくは複数者存在するかを確認する必要があるため、平成24年度は公募による調達を予定。 |
|   | ○  | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。                  | 研修回数について目標を上回っているため、単位当たりのコストの削減に努めており、水準も妥当である。  |
|   | ○  | 受益者との負担関係は妥当であるか。                             | 本事業は被災労働者の援護を図るものであり、事業主から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。   |
|   | —  | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。                 | —   |
|   | ○  | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。                | 委託費のほとんどが研修講師に対する謝金や旅費に使用されている。   |
| 活動実績、成果実績   | ○  | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。                     | より効果的な研修を行うべく、研修内容について最新の医学的知見等を反映しており、受講者の満足度も高く実効性が高い。  |
|   | ○  | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。                  | 適切な成果目標を立て、着実に実施している。   |
|   | ○  | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。                          | 活動実績は、見込みを上回っている。   |
|   | —  | 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。       | —   |
|   | ○  | ※類似事業名とその所管部局・府省名<br>整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | —<br>受託者が作成した研修教材等については次年度以降の受託者が活用できることとしている。  |
| 点検結果  | 過去の執行実績に基づいた予算要求を行うとともに、適切な事業を実施する必要がある。<br>また、平成23年度までは企画競争により受託者の選定を行ってきたが、厚生労働省公共調達委員会の指摘に基づき、平成24年度は公募を行う予定。 |   |   |
| 予算監視・効率化チームの所見                                    |  |   |   |
| 一部改善  | 石綿関連疾病診断技術研修事業については、執行状況を踏まえ、予算要求に反映させること。   |   |   |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)          |  |   |   |
| 縮減  | 執行実績を踏まえ必要経費を見直したことによる削減(反映額: ▲1百万円)   |   |   |
| 補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載) |  |   |   |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号                               |  |   |   |
| 平成22年行政事業レビュー                                     | 660-23   | 平成23年行政事業レビュー                                 | 0999  |

厚生労働省  
22百万円(平成23年度執行額)

〔 事業管理、受託者への指導 〕



【企画競争】

A. 独立行政法人 労働者健康福祉機構  
22百万円

〔 研修プログラムの作成、研修の実施・運営 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

| A.独立行政法人 労働者健康福祉機構 |                          |              | E. |     |              |
|--------------------|--------------------------|--------------|----|-----|--------------|
| 費目                 | 使 途                      | 金 額<br>(百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額<br>(百万円) |
| 謝金                 | 研修プログラム検討委員会出席謝金、研修会講師謝金 | 11           |    |     |              |
| 事務費                | 研修テキスト購入費、会場借料費、資料発送費    | 7            |    |     |              |
| 旅費                 | 研修プログラム検討委員会出席旅費、研修会出席旅費 | 3            |    |     |              |
| 消費税                | 消費税                      | 1            |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
| 計                  |                          | 22           | 計  |     | 0            |
| B.                 |                          |              | F. |     |              |
| 費目                 | 使 途                      | 金 額<br>(百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額<br>(百万円) |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
| 計                  |                          | 0            | 計  |     | 0            |
| C.                 |                          |              | G. |     |              |
| 費目                 | 使 途                      | 金 額<br>(百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額<br>(百万円) |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
| 計                  |                          | 0            | 計  |     | 0            |
| D.                 |                          |              | H. |     |              |
| 費目                 | 使 途                      | 金 額<br>(百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額<br>(百万円) |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
|                    |                          |              |    |     |              |
| 計                  |                          | 0            | 計  |     | 0            |

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

|   | 支出先          | 業務概要                | 支出額<br>(百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|--------------|---------------------|--------------|------|-----|
| 1 | (独)労働者健康福祉機構 | 研修プログラムの作成、研修の実施・運営 | 22           | 随意契約 |     |